

ポーランド電力訪問団の受け入れについて

当社はこれまで、原子力発電所の視察を中心に海外から多数の訪問団を受け入れておりますが、このたび、ポーランドからの電力訪問団を受け入れることとなりました。

電力の90%以上を石炭に依存している同国では、石炭火力発電の効率向上による地球温暖化問題への対応やエネルギーの多様化が課題となっており、原子力発電や石炭火力発電において優れた技術を有する日本の電力会社やメーカーへの関心が高まっています。

こうした中、日本の最新技術を視察し、当社およびメーカーの経営者とビジネス関係構築の機会をつくることを目的に、エネルギー問題議員連盟諮問委員会委員長のネフレベツキ氏を団長とした電力訪問団が結成され、このたび、日本を訪問されることとなりました。

当社では、島根原子力発電所1、2号機、建設中の島根原子力発電所3号機、三隅発電所をご訪問いただき、中国電力本社において経営層との意見交換を行うこととしています。

当社としては、長年培ってきた原子力発電技術や、石炭火力発電技術を活用し、同国との関係をさらに強固なものにするとともに、今後も海外からの訪問団を積極的に受け入れ、地球環境負荷低減に向けて取り組んでまいります。

【ポーランド電力訪問団の概要】

1.訪問期間

4月2日～4月3日(全工程は3月27日～4月5日)

2.当社の訪問箇所

4月2日(木):2班に分かれて行動

・島根原子力発電所(松江市鹿島町)

・三隅発電所 (浜田市三隅町)

4月3日(金)

・中国電力本社 (広島市中区小町)

3.訪問目的

石炭火力・原子力の最新技術(※)を視察することで、今後の同国の技術開発に役立てるとともに、経済産業省および当社や日本のメーカーの経営者等と面談し、ビジネス関係構築の機会をつくる。

※発電所視察は当社発電所のほか、クリーンコールパワー研究所勿来IGCCプラントを訪問される予定。

4.構成員

団長:ネフレベツキ氏(エネルギー問題議員連盟諮問委員会委員長)

国会議員1名、電力会社幹部11名、駐日ポ国大使館書記官、その他 計36名

以上

<参考>

島根原子力発電所への海外訪問団受入実績(2008年度)

国	団体数	訪問人数
アメリカ	8	39
スイス	1	1
タイ	2	23
ベトナム	1	1
UAE	2	7
マレーシア	1	7
インドネシア	1	3
合計	16	81名

三隅発電所への海外訪問団受入実績(2008年度)

国	団体数	訪問人数
タイ	1	2
アメリカ	1	1
中国	1	6
バングラデシュほか	1	9
合計	4	18名